



後藤 秀爾教授

[略歴]

- 昭和25年11月 岐阜県に生まれる
- 昭和48年 3月 名古屋大学教育学部教育心理学科 卒業
- 昭和48年 4月 名古屋大学大学院教育学研究科博士前期課程（教育心理学専攻） 入学
- 昭和48年 4月 医療法人豊和会精神神経科医院南豊田病院心理士（非常勤・令和2年3月まで）
- 昭和48年 5月 愛知県一宮児童相談所心理判定員（非常勤・昭和50年3月まで）
- 昭和50年 3月 名古屋大学大学院教育学研究科博士前期課程 修了（教育学修士）
- 昭和50年 4月 名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程（教育心理学専攻） 入学
- 昭和52年 4月 名古屋文化学園保育専門学校 非常勤講師（臨床心理学）（昭和54年3月まで）
- 昭和53年 3月 名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程 単位取得満期退学
- 昭和53年 4月 名古屋大学大学院教育学研究科 研究生
- 昭和53年 9月 愛知学泉女子短期大学幼児教育科 非常勤講師（教育心理学他）（昭和54年3月まで）
- 昭和54年 4月 愛知学泉女子短期大学幼児教育科 講師（心理学・教育心理学・統合保育論・保育原理・保育内容論・精神保健他）
- 昭和55年 4月 名古屋市民生局（現子ども青少年局）嘱託障害児保育巡回指導員（現統合保育スーパーバイザー）（現在まで）
- 昭和55年 4月 名古屋市民生局（現子ども青少年局）主催統合保育研究会講師（現在まで）
- 昭和55年 6月 名古屋大学大学院教育学研究科 研究生退学

昭和60年 4月 名古屋大学心理教育相談室（現発達心理精神科学教育センター）嘱託指導員（現在まで）

昭和61年 4月 愛知学泉女子短期大学幼児教育科 助教授

平成 4年 4月 愛知学泉女子短期大学幼児教育科 教授

平成 5年 4月 愛知県教育センター（現総合教育センター）嘱託心理判定員

平成 8年10月 社会福祉法人あさみどりの会評議員

平成 9年 4月 愛知県臨床心理士会理事（平成12年 3月まで）

平成10年 4月 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 教授（心理学・人間関係論・カウンセリング論・ボランティア活動の研究他）

平成10年 4月 愛知教育大学教育学部障害児教育特別専攻科 非常勤講師（障害児教育特論）（平成21年 3月まで）

平成10年 4月 愛知県教育委員会保健体育科嘱託“いのちの教室” 講師（平成12年 3月まで）

平成10年 7月 三重県教育委員会主催障害児教育担当教員認定講習 講師（平成14年度まで）

平成11年 4月 静岡大学大学院教育学研究科 非常勤教師（教育臨床心理学特論・相談心理学特論）（隔年で平成15年度まで）

平成13年 4月 名古屋市健康福祉局（現子ども青少年局）嘱託障害児保育指導委員会委員

平成13年10月 社会福祉法人あさみどりの会理事・評議員

平成15年 4月 三重大学大学院教育学研究科 非常勤講師（障害児教育特講）（平成16年 3月まで）

平成16年 4月 愛知淑徳大学コミュニケーション学部（現心理学部）・同大学院コミュニケーション研究科（現心理医療科学研究科） 教授（分析心理学・心理学概論・臨床心理学概論・臨床心理面接特論他）

平成17年 4月 名古屋大学教育学部 非常勤講師（平成18年 3月まで）

平成17年 4月 愛知県教育委員会豊田加茂地区特別支援教育連携協議会会長（平成20年 3月まで）

平成18年 4月 岐阜大学大学院教育学研究科 非常勤講師（心理療法特論）（平成19年 3月まで）

平成18年 4月 愛知県臨床心理士会会長（平成24年 3月まで）

平成18年 4月 愛知県精神保健福祉協議会 理事（平成24年 3月まで）

平成20年 4月 愛知県教育委員会尾張地区特別支援教育連携協議会会長（平成30年 3月まで）

平成21年 4月 名古屋市健康福祉部障害福祉早期療育指導委員会委員（平成30年 3月まで）

平成23年 4月 愛知淑徳大学心理臨床相談室長（現在まで）

平成24年 4月 愛知淑徳大学心理医療科学研究科設立準備委員会委員長（平成25年 3月まで）

平成24年 4月 鳴門教育大学大学院非常勤講師（臨床心理特殊研究・平成25年 3月まで）

平成25年 4月 愛知淑徳大学心理医療科学研究科長（平成31年 3月まで）

平成25年 4月 名古屋市子ども青少年局なごや子ども・子育て支援協議会委員（現在まで）

平成25年 4月 稲沢市特別支援教育巡回指導員（平成30年 3月まで）

平成27年10月 名古屋市子ども青少年局障害児保育指導委員会委員長（現在まで）

平成27年10月 社会福祉法人あさみどりの会理事長（現在まで）

平成28年 4月 愛知県精神保健福祉協議会常務理事（現在まで）

平成30年 4月 愛知県教育委員会海部地区特別支援教育体制推進事業地域アドバイザー（現在まで）

令和 3年 3月 愛知淑徳大学退職

所属学会等

日本教育心理学会（昭和50年）・東海心理学会（昭和50年）・日本児童青年精神医学会（昭和51年）・

日本小児精神神経学会（昭和52年）・日本心理臨床学会（昭和57年）・日本自閉症研究助成会（平成9年）・日本ロールシャッハ学会（平成10年）・日本コミュニティ心理学会（平成13年）・コミュニティ政策学会／研究フォーラム（平成14年） その他

[業績]

I 主な著書

1. 重度心身障害児－その生の意味と発達－ 川島書店 1976. (共著)
2. 保育叢書14・臨床心理学 福村出版 1981. (共著)
3. 子供の精神保健 教育出版 1981. (共著)
4. 障害重い子どもたち－集団療育の場－ 福村書店 1982. (共著)
5. 発達心理学 学術図書出版 1984. (共著)
6. 生きること・かかわること－人間への臨床心理学的接近－ 名古屋大学出版会 1984. (共編著)
7. 障害児理解の方法－臨床観察と検査法－ 学苑社 1985. (共著)
8. 保育シリーズ13・保育のための「社会」 学術図書出版 1986. (共著)
9. テキスト青年心理学 福村出版 1987. (共著)
10. 教育心理学への歩み 川島書店 1988. (共著)
11. 保育シリーズ4・教育心理学 学術図書出版 1988. (共著)
12. 障害児保育のあり方を求めて－名古屋市障害児保育10年の歩み－ 名古屋市 1989. (共著)
13. 子供の心理 福村出版 1989. (共著)
14. 統合保育 コレール社 1992. (共著)
15. “いのち” ふれあう刻を－重度心身障害児との心理臨床－ 川島書店 1994. (共著)
16. 子どもに学ぶ発達心理学 樹村房 1998. (共著)
17. 統合保育の現実と理想－名古屋市障害児保育20年誌－ 名古屋市 1999. (共著)
18. 心の臨床・その実践－かかわることの原点から－ ナカニシヤ出版 1999. (共編著)
19. コミュニティ政策を学ぶ 愛知学泉大学出版会 2002. (共著)
20. 統合保育の展開－障害の子と育ちあう－ コレール社 2002. (編著)
21. 21世紀の心理臨床 ナカニシヤ出版 2003. (共著)
22. ヒューマニスティック・サイコセラピー：ケースブック1 ナカニシヤ出版 2008. (共著)
23. 統合保育の協働に向かって－名古屋市障害児保育30年誌－ 名古屋市 2009. (共編著)
24. 心理学概説 ナカニシヤ出版 2010. (共著)
25. 心の物語と現代の課題－心理臨床における対象理解－ ナカニシヤ出版 2012.
26. “いのち” と向き合うこと・“こころ”を感じること－臨床心理の原点をとらえなおす－ ナカニシヤ出版 2013. (共著・監修)
27. 保育ニーズの多様化をめぐる支援の展開－名古屋市障害児保育40年誌－ 名古屋市障害児保育指導委員会（監修）2019.

II 主な論文

1. 自閉症児の集団適応に関する研究（1）名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）21, 1974. (共著)
2. 重度精神薄弱児への人間学的接近（第5報）－発達するということ－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）21, 1974. (共著)
3. 重度精神薄弱児への人間学的接近（第4報）－三たびケイコ－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）21, 1974. (共著)
4. 遊戯治療過程に関する研究－治療者評定用プロセススケール作成の試み－ 名古屋大学提出修士学位論文, 1975.

5. 自閉症児の集団適応に関する研究（２）－普通学級への適応過程－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）23, 1976.（共著）
6. 自閉症児の集団適応に関する研究（３）－知的・学習能力と適応過程－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）23, 1976.（共著）
7. 自閉症児の集団適応に関する研究（４）－授業分析を通して－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）23, 1976.（共著）
8. 発達障害児の集団療育（その１）－かかわりスケールに基づく発達のとらえ－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）23, 1976.（共著）
9. 発達障害児の集団療育－その序説－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）23, 1976.（共著）
10. 遊戯療法の過程研究－分析の方法論をめぐって－ 心理学評論 20, 1977.
11. 発達障害児の療育合宿－日常療育との関連の中で－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）24, 1977.（共著）
12. 重度心身障害児への人間学的接近（第7報）－障害児群像－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）24, 1977.
13. 自閉症児の集団適応に関する研究（５）－授業分析を通して・その２－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）25, 1978.（共著）
14. 自閉症児のコミュニケア 昭和53・54年度厚生省心身障害研究：精神薄弱児・者の治療教育に関する報告書, 1979.（共著）
15. 著しい攻撃性を示した自閉症児との遊戯治療過程－対決から出会いへと－ 誠信書房 臨床心理ケース研究 4, 1980.
16. 重度・重複障害児の集団療育（１）－子どもとのかかわりをととしての療育者の動き－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）27, 1980.（共著）
17. 重度・重複障害児の集団療育（２）－グループ参加をととしての療育者の動き－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）27, 1980.（共著）
18. 重度・重複障害児の集団療育（その４）－10年の歩みを振り返っての調査から－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）28, 1981.（共著）
19. 障害児問題に関する意識調査－短大2年間での変容について－ 愛知学泉大学研究論集 16, 1982.（共著）
20. 重度・重複障害児の集団療育（４）－二人の母親の3年間の歩み－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）29, 1982.（共著）
21. 登校拒否と家庭内暴力 日本文化科学社 教育心理 32, 1983.
22. 重度・重複障害児の集団療育（５）－父親の療育参加をめぐって－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）30, 1983.（共著）
23. 障害児療育における同窓の連帯をめぐって 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）31, 1984.（共著）
24. 重度・重複障害児の集団療育（６）－療育者の成長過程の構造－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）31, 1984.（共著）
25. 重度・重複障害児の集団療育（７）－家族力動のまとまりと安定への過程－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）32, 1985.（共著）
26. 重度・重複障害児の集団療育（８）－初心の療育者における発達の課題－ 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）32, 1985.（共著）
27. 保育所に入ってきた障害児たち－統合保育における保育者の成長課題を中心に－ 愛知学泉大学研究論集 20, 1986.
28. 借り物でない理解と受容について－後藤由美子論文へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 1, 1986.
29. 難しすぎるイニシャルケースのスーパーバイザーとして－栗田順子論文へのコメント－ 心理臨床－名古屋大

- 学教育学部心理教育相談室紀要－ 1, 1986.
30. 重度・重複障害幼児の集団療育（9）－健全児きょうだいと家族力動－ 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科) 33, 1986. (共著)
 31. 障害を背負うこと・人間として生きること－重度心身障害児とのかかわり体験によって得られるもの－ 愛知学泉大学研究論集 22, 1987.
 32. 重度・重複障害幼児の集団療育（10）－子どもとの全人的かかわりを求めて－ 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科) 34, 1987. (共著)
 33. 重度心身障害児療育の明日を目指して－MR療育からのスタート－ 昭和62年度科学研究費補助金成果報告書(課題番号62510047), 1988. (共著)
 34. 心身障害児療育の明日を目指して－質問紙調査とシンポジウムよりの論考－ 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科) 35, 1988. (共著)
 35. 発達障害幼児の集団療育（その3）－集団への入り込みの悪さを主題として－ 名古屋大学教育学部紀要(教育心理学科) 25, 1988. (共著)
 36. こどもの死と向かいあうことの意味－重度重複障害幼児との集団療育からの報告－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 5, 1990. (共著)
 37. たましいのともぶれを求めて－重度心身障害幼児との集団療育より－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 6, 1991. (共著)
 38. 学習障害児の勉強相談会の試み 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 8, 1993. (共著)
 39. 障害児療育グループにおける母親グループのグループプロセスについての検討－重度重複障害幼児の集団療育からの報告－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 8, 1993. (共著)
 40. 学習障害児は自己をどう体験するか－勉強相談会における発達援助の視点を考える－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 10, 1995. (共著)
 41. 働く女性のライフサイクルをどうとらえますか－金井篤子論文へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 10, 1995.
 42. “ことば” “まなざし” “こころ” の臨床－村上英治の遺したものから－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 12, 1997. (共著)
 43. 幼児教育における遊具使用の思想－フレーベル・モンテッソーリ・シュタイナーの三者比較から見えてくるもの－ 愛知学泉大学生活文化研究所平成10年度報告書 no.0706, 1999.
 44. 逆転移の治療的活用に目を向けること－伊藤裕美子さんの論文へのコメント－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要 3, 1999.
 45. 治すより大切なこと－松島秀明論文へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 14, 1999.
 46. 重度・重複障害幼児の集団療育事例から－子どもの内的体験イメージをつくること－小児の精神と神経 40, 2000. (共著)
 47. 重度・重複障害幼児の集団療育（11）－療育者の内なる子どもイメージからの展開－ 心理臨床－名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要－ 15, 2000. (共著)
 48. 通常学級における軽度発達障害児への理解 札幌学院大学心理臨床センター紀要, 2002.
 49. 重度重複障害幼児の集団療育（13）－家族イメージの変化と社会参加への過程－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 17, 2002. (共著)
 50. 心理臨床の学び方について－李さんの事例報告を読んで思うこと－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 17, 2002.
 51. 重度重複障害幼児の集団療育（14）－療育終了後の障害児の歩み－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 18, 2003. (共著)
 52. 現代社会と思春期モーニング－『千と千尋の神隠し』についての分析心理学的考察－ 愛知学泉大学コミュニ

- ティ政策学部紀要, 2003.
53. 「言えなかった母へのことば」はどうなった－清瀧裕子さん論文へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 19, 2004.
 54. 軽度発達障害児支援をめぐる今日的課題－臨床心理学に求められることと出来ること－ 愛知淑徳大学紀要コミュニケーション学部篇, 2005.
 55. 自閉症の子を遺して逝く母の思い－連絡ノートを通してどこまで支えられたのか－ 場としての臨床-愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 9, 2005.
 56. 世代間伝達概念の臨床的有用性－幻想の子どもと想像の子ども－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 20, 2005. (共著)
 57. おジャ魔女Nちゃんの求めたものは－大崎園生さんのケース報告へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 20, 2005.
 58. 創造性と乳幼児の能力 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 20, 2005. (共著)
 59. 児童虐待加害親の心理－初期介入と予防のための理解に向けて－ 愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部篇－, 2006.
 60. リストカット少女たちのロールシャッハ反応－その身体性と情緒性－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 10, 2006.
 61. 就学前高機能自閉症児への発達支援－実態調査と集団参加プロセス－ 愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇－, 2007. (共著)
 62. 集団不適応児の遊戯面接事例－トイレ強迫から電車マニアへ3年間の展開過程－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 11, 2007.
 63. 「グッドタイミングなバッドニュース」が意味すること－福元理英さんのケース報告へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 22, 2007.
 64. プリ子のプリは何のプリ－宇野千咲香論文へのコメント－ 岐阜大学心理相談研究, 2007.
 65. 宮崎吾朗の『ゲド戦記』における時代性－原作者の求めた普遍性との対比から－ 愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇－, 2008.
 66. 自閉症スペクトラムにおける解離性障害－現実生活を生きる自分を探して－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 12, 2008. (共著)
 67. 「非行少年の求めたもの」の次に知るべきことは－大矢義実さんの論文へのコメント－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 12, 2008.
 68. 高機能自閉症児の学校適応支援に関する一考察－内的危機状態の理解と対応－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 21, 2008. (共著)
 69. 自閉症の子どもたちの描画活動と自己イメージ（1）－その発達過程と集団参加－ 愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇－, 2009. (共著)
 70. 自閉症の子どもたちの描画活動と自己イメージ（2）－キャラクター生成の意味すること－ 愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇－, 2009. (共著)
 71. 投映法の心理治療的機能についての一考察－境界例人格障害女性の心理アセスメント体験－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 13, 2009.
 72. 事例研究と事例検討を再考する－ワンセッション・カンファレンスの持つ可能性から－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 13, 2009. (共著)
 73. 「天才ゴッホ」は何になろうとしているのか－河合裕子さんの論文へのコメント－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 13, 2009.
 74. 見えているものと見えていないもの－樋谷佳世さんのケース報告へのコメント－ 椋山臨床心理研究－椋山女子学園大学臨床心理相談室－, 2009.

75. 統合保育における「気になる子」をめぐる実態調査－名古屋市保育所の2006年と2008年の比較データより－
愛知淑徳大学論集－コミュニケーション学部・心理学研究科篇－, 2010. (共著)
76. ある高機能自閉症児の自己イメージの変遷過程－人としての自己が芽生えるまで－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 14, 2010. (共著)
77. 自閉症児の摂食行動障害－幼児期の特徴とその対応について－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 14, 2010. (共著)
78. 肛門期課題の子どもたちとの遊戯面接過程－自己の生成・対象関係・表現様式からの捉え－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 14, 2010. (共著)
79. 事例報告として読む『西の魔女が死んだ』－心理臨床学研鑽のための活かし方－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 25, 2010. (共著)
80. 母親表象はどこに見つかるか－中尾瞳さんのケース報告へのコメント－ 梶山臨床心理研究－梶山女学園大学臨床心理相談室－, 2010.
81. 『ハリー・ポッター』とトラウマの時代－心の傷の癒され方－ 愛知淑徳大学論集－心理学部・心理学研究科篇－, 2011.
82. ある精神科医のロールシャッハ反応－名大式技法による分析と理解の一事例－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 15, 2011.
83. 保育所に通う自閉症児の発達課題と集団参加支援－関与観察から見る高機能自閉症児3人の自己イメージ－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 15, 2011. (共著)
84. 身体と言葉をつなぐもの－鈴木美穂さんのケース報告へのコメント－ 梶山臨床心理研究－梶山女学園大学臨床心理相談室－, 2011.
85. 現代の病理とその変遷過程－子ども・家族・学校・社会－ 愛知淑徳大学論集－心理学部・心理学研究科篇－, 2012.
86. 保育所における関係性障害の子どもたちの集団参加支援－自閉症周辺の障害を持つ子どもの自己イメージを中心に－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 16, 2012. (共著)
87. スキゾイド・パーソナリティ障害と自閉症スペクトラム障害－須田恵理子さんの事例報告へのコメント－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 27, 2012.
88. 自閉症児の親への障害告知をめぐる支援のあり方－特に高機能の子どもを持つ親に焦点をあてて－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 17, 2013. (共著)
89. 聴覚障害児の言語獲得の基盤にあるものは何か(1)－対人関係に困難を感じている大学生の事例から－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 17, 2013. (共著)
90. 家庭訪問による心理臨床的子育て支援の可能性－乳幼児観察及び投影法を用いた事例検討－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 17, 2013. (共著)
91. 家族の交流と母親の内なる家族イメージ－乳幼児観察を通してみる父親の機能に焦点をあてて－ 場としての臨床－愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要－ 17, 2013. (共著)
92. 「メルちゃんがない」－早川晴佳さん論文へのコメント－ 梶山臨床心理研究, 2013.
93. 講演録 精神障害・ニート・ひきこもりなどの若者支援－心理臨床(家族臨床)の立場から－ 日本福祉大学心理臨床研究センター紀要, 2013.
94. 臨床現場から動きを創る(4)・名古屋市の統合保育とスーパーバイザー制度 金剛出版 臨床心理学 13, 2013.
95. ワンセッション・カンファレンスの事例研究－学ぶことと伝えること－ 創造の臨床事例研究, 2014. (共著)
96. プレイルームという可能性空間－部屋と遊具とセラピストとそれを抱える環境と－ 心理臨床－名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター心理発達相談室紀要－ 29, 2014.
97. 子どもに学ぶことを学ぶ－西澤聡美さんの事例報告へのコメント－ 臨床心理研究－人間環境大学臨床心理相談室紀要－, 2014.
98. 聴覚障害児の言語獲得の基盤にあるものは何か(2)－他者とのコミュニケーションに積極的な大学生の事

- 例からー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 18, 2014. (共著)
99. 青年期自閉症児の自己イメージと就労支援ー養護学校生徒の職場実習体験の検討からー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 18, 2014. (共著)
100. 被虐待児の自己イメージと心の課題ー認知機能と行動特性による類型化の試みからー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 18, 2014. (共著)
101. 「怖い」の意味するものは何だったのかー山藤あいさんの事例報告へのコメントー 椋山臨床心理研究, 2015.
102. アタッチメント障害児の自己イメージと対人関係 (1)ー児童養護施設における思春期女子の心の課題ー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 19, 2015. (共著)
103. 自閉スペクトラム症児の社会参加へのプロセスー青年期における社会参加不安と自己生成の課題をめぐってー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 19, 2015. (共著)
104. 子離れを怖れる気持ちの本態は何かー瀬戸山論文へのコメントー 岐阜大学大学院教育学研究科心理教育相談室 岐阜大学心理教育相談研究, 2015.
105. アタッチメント障害児の自己イメージと対人関係 (2)ー思春期における自己評価と他者評価のずれについてー 愛知淑徳大学心理臨床相談室 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 20, 2016. (共著)
106. 「母になる」プロセスと子育て支援 (1)ー子育て支援グループでの経験からー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 20, 2016. (共著)
107. 不登校中高生の社会参加不安をめぐってー反応性アタッチメント障害圏の自己イメージについての検討ー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 20, 2016. (共著)
108. 小学5年生の今、Aくんはどんな自分になりたがっているかー牧野梨左さんの事例報告へのコメントー 椋山臨床心理研究 16, 2016.
109. アタッチメント障害児の自己イメージと対人関係 (3)ー自己評価と他者評価のずれに着目した3類型からのアプローチー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 21, 2017. (共著)
110. ウサギちゃんは困っているー土屋真紀さんの事例報告へのコメントー 椋山臨床心理研究 17, 2017.
111. 聴覚障害児の自己感の発達過程 (1)ー間主観性獲得をめぐる心の課題ー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 21, 2017. (共著)
112. 巻頭言 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 22, 2018.
113. 軽度認知症高齢者の認知機能と内的体験ーもの忘れ外来における心理的アプローチの試みー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 22, 2018. (共著)
114. 長期不登校中・高生の社会参加不安ーバウムテストを用いた類型化の試みー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 22, 2018. (共著)
115. 心理臨床における普遍的なものー何がプロフェッショナルリティを支えるかー 心理臨床ー名古屋大学心の発達支援研究実践センター心理発達相談室紀要ー 34, 2019.
116. 不登校高校生の身体症状化された心の課題 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 23, 2019. (共著)
117. 中学生の不登校傾向と家族イメージに関する研究ー動的家族画の特徴からの検討ー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 23, 2019. (共著)
118. アタッチメント障害圏の子どもの自己イメージと対人関係ー子どもの特性と職員のア着スタイルに着目してー 場としての臨床ー愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要ー 24, 2020. (共著)

III 最近の主な学会発表

1. 就学前軽度発達障害児の実態調査 東海心理学会第55回大会 (名古屋大学) 2006. (共同発表)
2. 自画像から見る“キレる子”の心理ー衝動性コントロールとキレ行動との関連ー 東海心理学会第55回大会 (名古屋大学) 2006. (共同発表)
3. 自画像から見る“キレる子”の心理・その2ー“粹破り”の意味をめぐってー 東海心理学会第56回大会 (中

- 部大学) 2007. (共同発表)
4. 現代の母親が抱える育児不安についての一考察－育児サポートのあり方を中心に－ 東海心理学会第56回大会 (中部大学) 2007. (共同発表)
 5. 統合保育における「気になる子ども」と保育不安－対応困難な行動に対する実態調査から－ 東海心理学会第56回大会 (中部大学) 2007. (共同発表)
 6. 二分脊椎児の認知特性と自己イメージ－家族支援のあり方を探るために－ 東海心理学会第56回大会 (中部大学) 2007. (共同発表)
 7. 自閉症スペクトラムの子どもの自己イメージの発達過程－具体的な集団参加支援のあり方を求めて－ 東海心理学会第57回大会 (愛知教育大学) 2008. (共同発表)
 8. 自画像から見る“キレる子”の心理・その3－手を隠すこと、表情を出さないことをめぐって－ 東海心理学会第57回大会 (愛知教育大学) 2008. (共同発表)
 9. 思春期の過剰適応についての研究－バウムテスト2枚法を用いた類型化の試み－東海心理学会第57回大会 (愛知教育大学) 2008 (共同発表)
 10. 現代の母親が抱える育児不安についての一考察 (2)－生後2年間にわたる母子相互作用の観察から－ 東海心理学会第57回大会 (愛知教育大学) 2008. (共同発表)
 11. 自閉症の子どもたちの描画活動と自己イメージ－キャラクター生成の意味と発達援助の視点－ 日本心理臨床学会第28回秋季大会 (明治学院大学・東京国際フォーラム) 2009. (共同発表)
 12. “キレる子”の自己イメージの研究－自画像から見えてくるもの－ 日本心理臨床学会第28回秋季大会 (明治学院大学・東京国際フォーラム) 2009. (共同発表)
 13. 名古屋市の保育所における「気になる子」の実態調査－保育者のメンタルヘルスにおよぼす影響－ 日本心理臨床学会第28回秋季大会 (明治学院大学・東京国際フォーラム) 2009. (共同発表)
 14. 二分脊椎児の認知特性と自己イメージ－親と子をつなぐアセスメントを目指して－ 日本心理臨床学会第28回秋季大会 (明治学院大学・東京国際フォーラム) 2009. (共同発表)
 15. 発達障害児との遊戯療法－アセスメントから環境調整まで－ 日本遊戯療法学会第16回大会ワークショップ (ウィンクあいち) 2010.
 16. 青年期自閉症者との心理面接－セラピストとの関係性と自己イメージに着目して－ 日本心理臨床学会第29回秋季大会 (東北大学) 2010. (共同発表)
 17. 中学生における精神症状と対人関係－GHQにみる主要症状とエゴグラム－ 日本心理臨床学会第29回秋季大会 (東北大学) 2010. (共同発表)
 18. 肛門期課題の子どもたちとの遊戯面接過程－自己生成・対象関係・表現様式の視点から－ 日本心理臨床学会第29回秋季大会 (東北大学) 2010. (共同発表)
 19. 被虐待児の認知特性と行動障害－LD傾向優位群とADHD傾向優位群との比較から－ 日本心理臨床学会第29回秋季大会 (東北大学) 2010. (共同発表)
 20. 中学生の心身症についての地域別比較－都市部と漁・農村部でのGHQ30による症状の違い－ 日本心理臨床学会第30回秋季大会 (九州大学) 2011. (共同発表)
 21. 保育所に通う自閉症児の発達課題と集団参加支援－関与観察からみる高機能自閉症児3人の自己イメージ－ 日本心理臨床学会第30回秋季大会 (九州大学) 2011. (共同発表)
 22. 統合保育における高機能自閉症と愛着障害－取り組み課題を捉える視点について－日本心理臨床学会第31回春季大会ワークショップ (跡見学園大学) 2012.
 23. 家族の交流と母親のうちなる家族イメージ－乳幼児観察を通してみる父親の機能に焦点を当てて－ 日本心理臨床学会第31回秋季大会 (愛知学院大学) 2012. (共同発表)
 24. 被虐待児の自己イメージと心の課題・その1－自己評価と他者評価の不一致の意味－ 日本心理臨床学会第31回秋季大会 (愛知学院大学) 2012. (共同発表)
 25. 被虐待児の自己イメージと心の課題・その2－認知機能と行動特性による類型化の試み－ 日本心理臨床学会

第31回秋季大会（愛知学院大学）2012.（共同発表）

26. アタッチメント障害の子どもたちの思春期課題をめぐって－施設の中での自己と家族の中での自己－ 日本心理臨床学会第31回秋季大会（愛知学院大学）2012.（共同発表）
27. 中学生の心身症状についての地域間比較（2）－都市部と漁・農村部の4校の生徒の心身状況比較－ 日本心理臨床学会第31回秋季大会（愛知学院大学）2012.（共同発表）
28. 聴覚障害児の自己感の発達過程（1）－間主観性をめぐる課題－ 日本心理臨床学会第33回秋季大会（パシフィコ横浜）2014.（共同発表）
29. 児童養護施設入所児の自己評価と他者評価－TSRとCBCLの比較による検討－ 日本心理臨床学会第33回秋季大会（パシフィコ横浜）2014.（共同発表）
30. 児童養護施設における思春期女子の心の課題－対人関係と自己イメージの検討から－ 日本心理臨床学会第33回秋季大会（パシフィコ横浜）2014.（共同発表）
31. 子育て中の母親を支えるもの（1）－乳幼児母子観察事例にみられる子育て支援の可能性－ 日本心理臨床学会第33回秋季大会（パシフィコ横浜）2014.（共同発表）
32. 聴覚障害児の自己感の発達過程（2）－学齢期の認知特性をめぐって－ 日本心理臨床学会第34回秋季大会（神戸国際会議場）2015.（共同発表）
33. 子育て支援における母親グループの役割と機能－「母になる」という発達ラインを中心に－ 日本心理臨床学会第34回秋季大会（神戸国際会議場）2015.（共同発表）
34. 乳児期の母子観察から考える子育て支援（1）－母親の内なる子どもイメージと家族のあり方－ 日本心理臨床学会第35回秋季大会（パシフィコ横浜）2016.（共同発表）
35. 子育て支援における母親グループの役割と機能（2）－母親役割へのとらわれをめぐる課題を中心に－ 日本心理臨床学会第35回秋季大会（パシフィコ横浜）2016.（共同発表）
36. 長期化する不登校中高生への理解と支援に関する研究（1）－家族イメージを観点として－ 日本心理臨床学会第35回秋季大会（パシフィコ横浜）2016.（共同発表）
37. 長期化する不登校中高生への理解と支援に関する研究（2）－高校3年生の自己イメージと時間的展望を観点として－ 日本心理臨床学会第35回秋季大会（パシフィコ横浜）2016.（共同発表）